

声楽譜 (凹版)

2005年8月24日
2012年3月24日改訂
楽譜点訳の会「星」

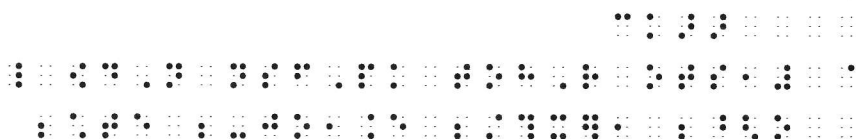
1. 譜割りにについて

♪ 日本語の場合 ♪

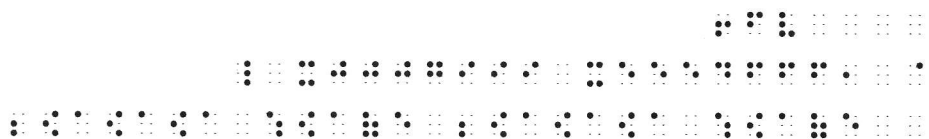
- ◎ マスあけは、日本語の分かち書きにする。
- ◎ 歌詞の部分に小節線(5・6の点)を入れる。小節線を記すことによって単語が分割される場合は、つなぎ符(3・6の点)を入れる。

(1) 1音符・1音節

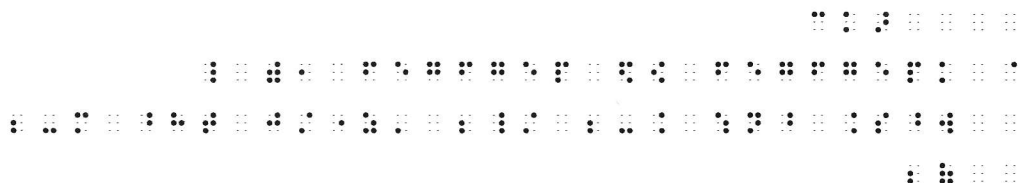
☆ 音符と文字の数が同じ



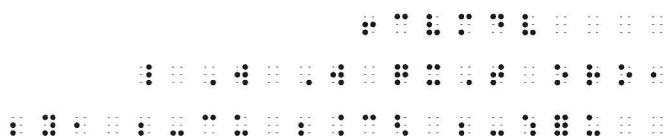
☆ 拗音(ちゃ・ちゅ等)・外来語(ファ・フェ等)も1音節とする。



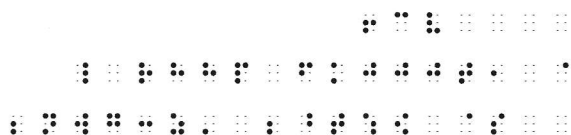
☆ あ・い・う・え・お・ん・促音(っ)が、その直前の文字と共に一つの音符に対応する場合。



☆ 長音符で書く「う」は、そのまま原文通り「う」を書く。

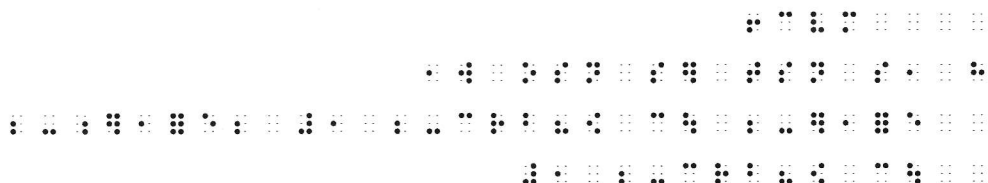


☆ 外来語の長音符はそのまま長音符をつかう。



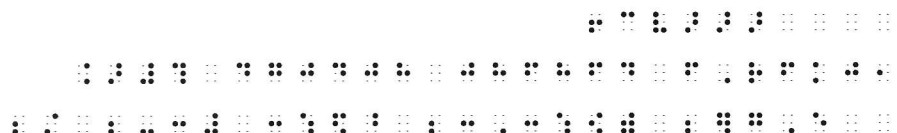
(2) 1音符・2音節以上

☆ 言葉のカッコの開き(5・6の点)と閉じ(2・3の点)で囲む。



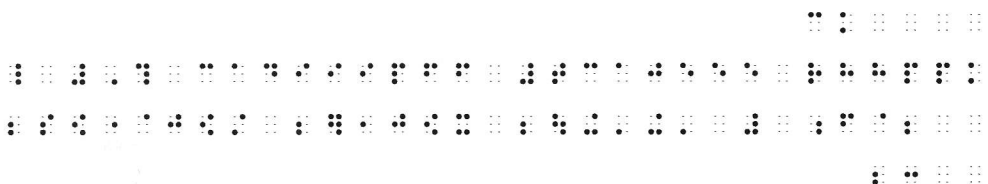
(3) 2音符以上・1音節

☆ 伸ばす文字に長音符(2・5の点)をつける。



☆ タイで結ばれている音符は、1音と見なす(a)。

ただし(b)の場合は、旋律と歌詞の小節がずれることになるので、必ず長音符をいれる。



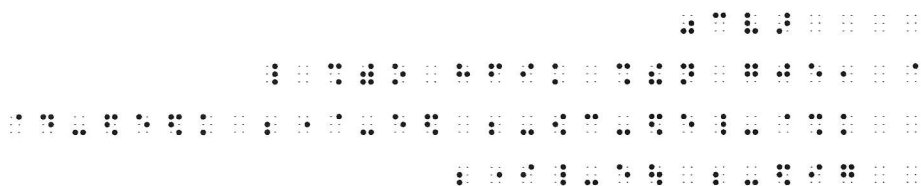
♪ 外国語の場合 ♪

- ◎ 一つの単語を音符の数にあわせて分割する場合は、墨字のハイフンを手掛かりに分け、つなぎ符(3・6の点)でつなぐ。
- ◎ 歌詞の部分に小節線(5・6の点)を入れる。

(1) 基本的な例

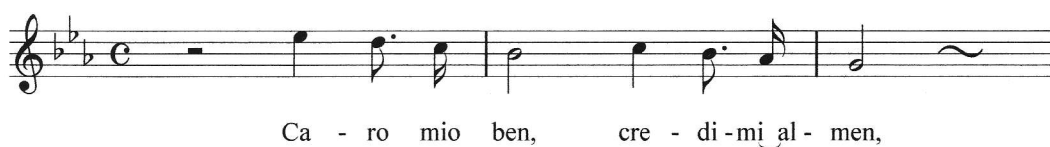


Ma - lin - co - ni - a, Nin - fa gen - ti - le,

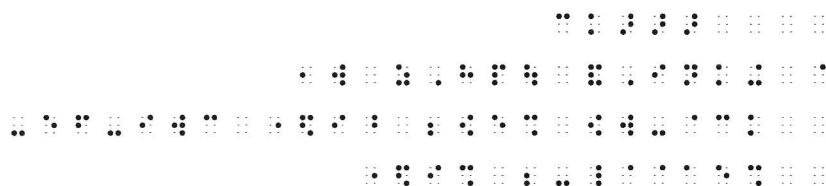


(2) 1音符に2つ以上の単語(音節の一部でも)が対応する場合

☆ それぞれの音節の間を言葉のタイ(4の点と1の点)でつなぐ。



Ca - ro mio ben, cre - di-mi al - men,



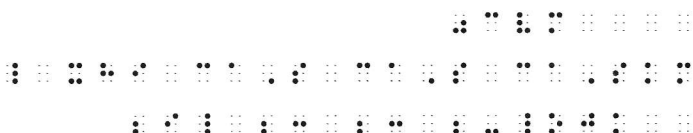
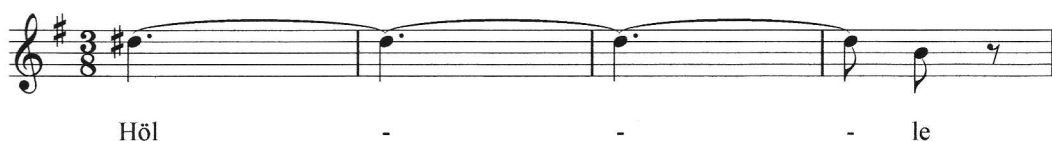
☆ 伸ばす音に長音符(2・5の点)をつける。
長音符がつなぎ符と重なった場合はつなぎ符は省略する。
コロンと長音符が同じ記号になるので、コロンを(2・6の点)に変更。

☆ つなぎ符が小節の最後及び行末にある時は省略できない。

-5-

☆ タイで結ばれている音符は、1音と見なす。

ただし次の場合は、旋律と歌詞の小節がずれることになるので、必ず長音符を入れる。

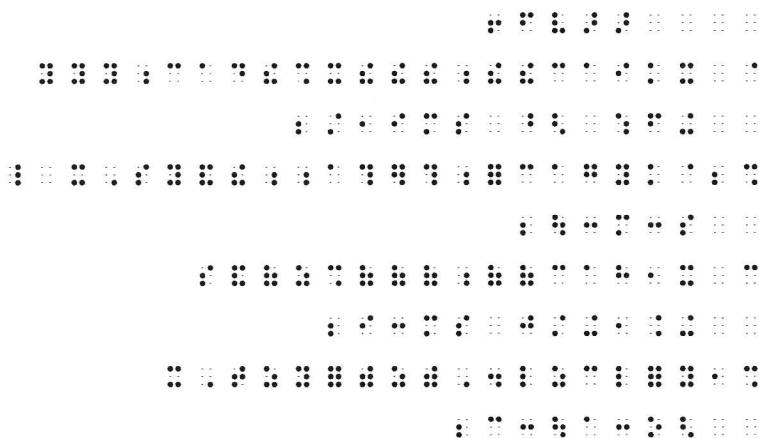


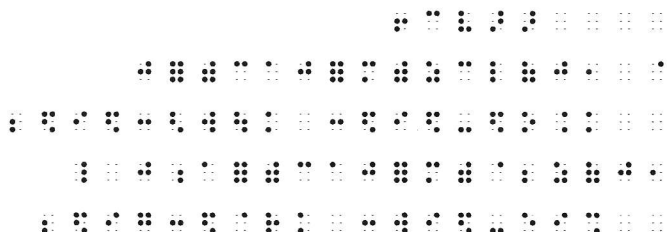
2. スラーの特殊用法

歌詞と音符の対応がわかりにくい場合

☆ 音符が3つ以下の時 点訳者のスラー(4・5・6の点と1・4の点)

☆ 音符が4つ以上の時 開き(5・6の点と1の点)、閉じ(4の点と2・3の点)で囲む。





3. 繰り返し法

(1) 声楽のパート

☆ 声楽のパートにおいて繰り返しの使用はあまり望ましくない。

(2) ピアノ伴奏等

☆ 小節番号による繰り返し法

原則として両手とも繰り返す部分が同じ場合に限る。しかしパラレルの区切り方が前と同じであり、またそれが長ければ(8小節以上)片手の中でも使用できる。

4. 矢印方式

声楽の旋律パートで、発想用語によって楽譜が中断されたり、1行に1小節が入らない場合

- ☆ 楽語をレ下がりカッコに入れて、対応する音符・休符に矢印(1・2・3の点または4・5・6の点、あるいは5・6の点と1・2・3の点)を付け、1行下ろす。
- ☆ 用語が2行に渡る時は、言葉の頭を揃える。ただし歌詞と間違いやすい時は、言葉の頭から更に2マス下げる。

di - te un po - co un po - co o che mai

- ☆ 用語がカッコ付きの時

5. レイアウト

- (1) 原本ページ ——— 第1行1マス目

1ページの中に2つの原本ページが入る場合

〔例〕 原本ページ1・2

1ページの中に3ページ以上が入る場合

〔例〕 原本ページ3・4・5

- (2) 点訳ページ —— 第1行28マス目

- ### (3) タイトル

第2行にセンタリング、またはタイトル書式に準ずる。

- (4) 作詞者・作曲者・編曲者等

・タイトルの次の行に行末(16マス目以降)に寄せて入れる。

- ・各項目の頭を揃え、一つの項目が複数行に渡る時、次行は2マス下げる。

- ### (5) 曲の始めの発想用語

1行あけて、5マス目より発想用語、速度記号、調子・拍子記号をそれぞれの間2マスあけて入れる。(複数行に渡る時、次行は7マス目より)

- ## (6) 声楽の旋律

・1行に入る小節だけを書く。(小節の途中で切らないように)

・1行に1小節も入らない場合は、続きを次行の1マス目から書く。

- ### (7) 歌詞

・3マス目より旋律に対応する歌詞を入れる。

・複数行になっても書き出しは3マス目に揃える。

・2番以降は次行3マス目よりその番号をレ下がりカッコに入れ、

1マスあけて歌詞を書く。番号はパラレルが変わる毎に記す。

・歌詞が同じ時の歌詞番号

1番と2番が同じ歌詞

1～3番が同じ歌詞

・小節の途中で歌詞番号が変わる時




(2番の歌詞)
 (1番の歌詞)

- ・繰り返し(リピート等)の歌詞は5マス目より書き、複数行になった時は次行3マス目から書く。
- ・複数言語の場合、二つ目の言語は5マス目から書き、複数行になった時は次行3マス目から書く。
- ・歌詞がカギ付きの時

「 ～ 」 :: :: ～ :: ::

- (8) 伴奏(ピアノ) —— 声楽のパートに対応するピアノ譜を書く。
 声楽の旋律、歌詞、伴奏(ピアノ)が1組になったものを、パラレルと言う。
 各パラレル間は1行あける。ただし、伴奏なしの単旋律は行間をあけない。
- (9) 小節番号
- ・声楽のパートの1マス目、1パラレルおきに数符を省略して入れる。
 - ・曲の始め、各ページの始め、パラレルの構成が変わったときに入れる。
 - ・ピアノパートのみの時は右手に数符を付けて記す。
- (10) 段変更線 —— (1・2・3の点)(P.11 付記参照)
- ・原本の段が変わる時、声楽のパートに前後1マスあけて入れる。
 - ・ピアノパートのみの時は右手に入れる。
- (11) ページ変更線 —— 1マス目から5の点に続けて(2・5の点)4つの後に、
 原本ページ
- ・パラレルの行間を利用して入れる。
 - ・段変更線と重なった時は、段変更線は省略
 - ・原本ページと点訳ページが同時に改ページする場合、
 次ページ1行目(ページ行)にページ変更線を記す。
- (12) 手記号
- パラレルの構成が変わった場合の手記号はフルで書く。

(13) 星印

- ・歌詞に付いている場合

日本語	あそぼう*	:: :: :: :: :: ::
外国語	we-gen*	:: :: □ :: :: :: :: ::

- ・5マス目に記す発想用語の場合

Andante* :: :: :: :: :: :: :: :: :: ::

付記

〔声楽譜〕 段変更線

2007年7月28日

2012年3月24日改訂

1. 段変更線の要・不要は作業票の指示に従う。
2. 作業票に記載がない場合、次のような事を総合的に考慮し、必要に応じて入れる。
 - ・原本に練習番号、小節番号があるかどうか。
(練習番号が有っても、その間隔によっては必要な場合も有る)
 - ・原本1ページの段数が多いかどうか。
 - ・原本1段の小節数が多いかどうか。
(段数のみに囚われがちだが、小節数も考慮する必要が有る)
3. 段変更線はすべてのパートに入れる。
4. 段変更線を入れる場合は必ずページ変更線も入れる。